

どんな子も幸せにする音楽の授業

# 体で感じて

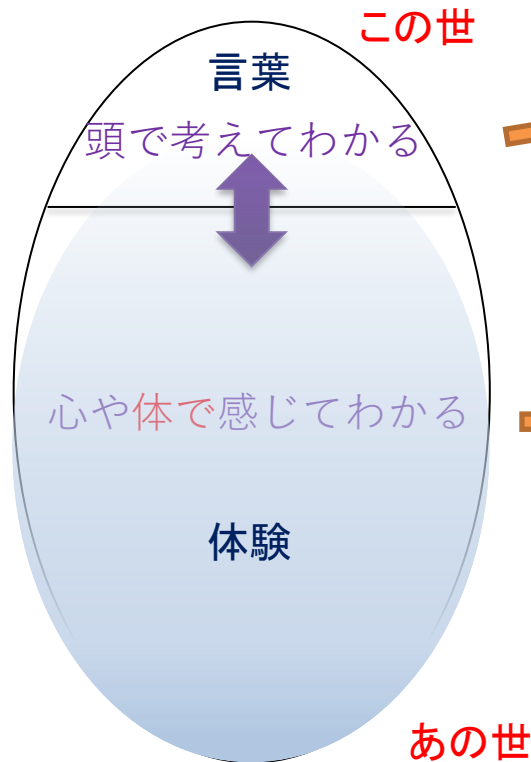
2024/7/7

筑波大学附属小学校

高倉 弘光

# 2通りの「わかる」

(河合隼雄による)



- ・  $1 + 1 = 2$  (万人共通)
- ・ 科学的 (数値化できる)
- ・ 知識・思考



- ・ 自分は〇〇の音楽が好き (個別的)
- ・ 芸術的 (数値化できない)
- ・ 技能、思考

(各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、)  
音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて音楽と関わる  
ことができるよう、指導のねらいに即して体を動かす活動  
を取り入れること。

(各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、)  
音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて音楽と関わる  
ことができるよう、指導のねらいに即して体を動かす活動  
を取り入れること。

この下に、解説が書かれています……

## (抜粋)

- ・ 児童が音楽を全体にわたって感じ取っていくためには、**体のあらゆる感覚**を使って音楽を捉えていくことが必要となる。
- ・ 児童が**体全体**で音楽を感じ取ることを通して、音楽科の学習において大切となる**想像力**が育まれていくのである。
- ・ このように、児童が音楽との**一体感を味わう**ことができるようにするためには、**音楽に合わせて歩いたり、動作をしたりする**などの体を動かす活動を取り入れることが大切である。

## (抜粋)

- ・ 指導に当たっては、**体を動かすこと自体をねらいとするのではなく、例えば、音楽の特徴を捉える学習を深めたり、思いや意図に合った表現を高めたりするなど、指導のねらいに応じて効果的に取り入れられるように留意する必要がある。**

## 解説をまとめると…

- **ねらい**の例示は2つ
  - ①音楽の特徴を捉える学習を深める
  - ②思いや意図に合った表現を高める
  
- 体を動かすことで、想像力（イメージ）をもたせることができる。  
（主体的な表現や鑑賞には、音楽の具体と全体のイメージが重要）
  
- **活動**の例示は2つ
  - ①音楽に合わせて歩いたり
  - ②動作をしたりする
  
- **注意点**は、体を動かすこと自体をねらいとしない。

- **活動**の例示は2つ
  - ①音楽に合わせて歩いたり
  - ②動作をしたりする

……ん～～、2つだけの例示では、言い尽くさない？

「どういう活動をすればいいの？」

「体を動かして表現が本当に高まるの？」

「そもそも、体を動かして意味あるの？」

「体を動かすと教室が騒がしくなって、制御不能になる」



## 【「体を動かす活動」あれこれ】

- (1) 鑑賞学習における「身体反応」「身体運動」「身体表現」
- (2) 歌唱や器楽で役立つ「体の動き」
- (3) 音楽づくりで役立つ「体の動き」
- (4) 音楽を特徴付けている要素をよりよく理解する「体の動き」
- (5) 無意識に動くことの価値
- (6) 仲間づくりに役立つ「体の動き」
- (7) 音楽が「わかる」ということ

## 高倉なりの「体を動かす活動」の分類

拙著：「こども・からだ・おんがく 高倉先生の授業研究ノート」（音楽之友社 2017）による

- 「身体反応」 → 音楽的な動きではないが、音や音楽にシグナル的に体を動かすこと。（手を挙げる、立つ、座る）
- 「身体運動」 → 身体反応より音楽的な動き。音や音楽にぴったり合った動きをすること。〔共通事項〕に対する動きと言ってもよい。  
（音楽に合わせて歩いたりする、音楽遊びをする、フレーズを手で表現する）
- 「身体表現」 → 音楽そのものを体全体で表現すること。  
（音楽の要素や仕組みを意識して動くことが大切。踊り、ダンスとは違う）

## 例1:「ソーラン節」の鑑賞授業のねらい:

- 「音頭一同形式」に気付く(聴き取る) → 知識
- 音楽の面白さを感じ取る(音色などか) → 知識、思考等
- 民謡が生まれた背景に想いをはせる → 思考等(味わうこと)

例2:「春の小川」の歌唱授業で……

ドレミ体操で、何度も歌う！

# 「春の小川」を階名で歌おう

ミソラソ ミソドド ララソミ ドレミ○

ミソラソ ミソドド ララソミ レミド○

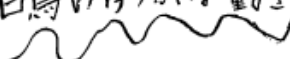

レミレソ ララソラ ドドシラ ソソミ○

ミソラソ ミソドド ララソミ レミド○

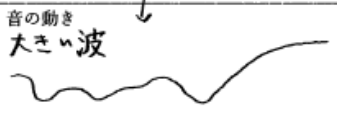
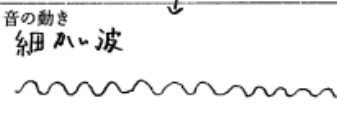
## 例2:「白鳥」の鑑賞授業のねらい:

- チェロとピアノによる演奏(楽器の音色) → 知識
- 2つの楽器の重なることよさ → 知識、思考等
- 優雅さを感じ取ること → 思考等(味わうこと)

音楽「白鳥」 自分の考えシート

1. 今回学習した音楽の名前と作曲者を書きます。	
曲名 「白鳥」	作曲者 (サン・サーンズ)
2. この曲では、どんな楽器が使われていましたか？ また、それぞれの楽器の音の動きは同じではなかったですね。それぞれ、どんな音の動きでしたか？ 文で書いてみましょう。書くのがむずかしいと思う人は、絵や図でかいてもいいですよ。	
楽器1 チェロ	楽器2 ピアノ
音の動き 白鳥のゆがな動き 	音の動き 波や周りのできごとの糸田かい動き 
3. この音楽のいいなあと思うところ、好きなどころはどんなところですか？ また、それは音楽がどうなっているからだと思いませんか？ くわしく教えてください。いくつでもいいです。	
<u>チェロの白鳥の動きがそうそでぎるところ。ピアノの波の動きがより白鳥の動きをひきつけているから。</u>	
4. グループで動きをつくりました。楽しかったですか？ 楽しい度を 10 点満点で教えてください。	
9 点	
5. 動いてみてはじめてわかったこと、感じたことがあったら教えてください。	
<u>動くとき自分が白鳥になった気分になってチェロの音がもともとが音に聞こえる。</u>	
6. 動きをつくるときに、がんばっていたお友達のことを教えてください。だれが、どんなことを？ 自分は？	
自分がいすに乗ってチェロの白鳥の動きをやり、波の動きをゆかてやたらとてあんなした。みすかがせのひまで白鳥の動きを表そうとしていたのがよかった。	

音楽「白鳥」自分の考えシート

1. 今回学習した音楽の名前と作曲者を書きます。	
曲名 「白鳥」	作曲者 (サン・サーンス)
2. この曲では、どんな楽器が使われていましたか？ また、それぞれの楽器の音の動きは同じではなかったですね。それぞれ、どんな音の動きでしたか？ 文で書いてみましょう。書くのがむずかしいと思う人は、絵や図でかいてもいいですよ。	
楽器 1 チェロ	楽器 2 ピアノ
音の動き 大きい波 	音の動き 細かい波 
3. この音楽のいいなと思うところ、好きなところはどんなところですか？ また、それは音楽がどうなっているからだと思いませんか？ くわしく教えてください。いくつでもいいです。	
好きな所は白鳥みたいなゆたたりとしている所です。 なぜかというと曲がゆくりだからだと思います。 好きな所は白鳥の気もちがわかる所です。 なぜかというとチェロの音が大きくうごいてたからです。	
4. グループで動きをつくりました。楽しかったですか？ 楽しい度を 10 点満点で教えてください。	
10 点	
5. 動いてみてはじめてわかったこと、感じたことがあったら教えてください。	
私はピアノを最初やっていた時、白鳥がとびたうとしている波だというのがわかりました。そして、チェロにかわった時、とんでいる白鳥になりました。月をうらととんでるように思えました。	
6. 動きをつくるときに、がんばっていたお友達のことを教えてください。だれが、どんなことを？ 自分は？	
がんばっている人はかい君だと思います。なぜかという、白鳥みたいに手を動かしたらうんじないうとか毎日昼休みに音楽室に練習とかを1日も休まずにきてくれたからです。私はかい君に「音楽室に練習に行く」ときいたことです。	



## ◆ 「音楽を特徴付けている要素」を体験する活動→理解

事例：

- ① 「おちゃらか」
- ② 「アルプス」
- ③ 「幸せなら手をたたこう」
- ④ 「3時のおやつ」
- ⑤ ドレミ体操で… 「ひのまる」 「春の小川」 「とんび」 …

ありがとうございました！

筑波大学附属小学校 高倉弘光